米山正和さんを偲んで

米山さん、残念です　寂しいです・・・・・

「今年も今日から東北学生春の大会よろしくお願いします」と言って山形県体育館玄関脇の事務所に声をかけると、「いやぁ～　久しぶりです　元気でしたか？　こちらこそ今年もよろしくお願いします」と満面の笑顔で交わしていた挨拶や「一服どうですか？」と吹き抜け倉庫の特別室（？）での愛煙家同士の楽しいバドミントン談義がもうできなくなってしまいました。

　平成28年8月19日（金）午後8時過ぎ、元東北学生バドミントン連盟顧問・米山正和氏が急逝されました。享年64歳、あまりにも突然の旅立ちでした。前日に電話で全日本学生ミックスダブルス選手権大会での山形県出身学生の優勝を元気に話し合っていただけに突然の訃報がにわかには信じられませんでした。

　米山正和氏は日本大学山形高校ではインターハイ団体準優勝・ダブルス優勝・シングルス準優勝、法政大学では主将として部員からの信望も厚く、関東大学リーグ5連覇や全日本学生選手権大会（全日本インカレ）ダブルス3位等、輝かしい戦績を残した名プレイヤーでした。その後、和歌山県庁を経て山形県庁に奉職され「べにばな国体」を強化部長として成功させた後、山形県バドミントン協会理事長として10年にわたって若者の指導育成に力を注いでこられたと伺っております。

　東北学生バドミントン連盟が平成24年から新たな体制でスタートする時、米山さんを顧問に迎えて学連の将来に向かっての在り方について、大好きな酒を酌み交わしながら話し込んだことがつい先日のように思われます。平成27年に東日本学生選手権大会（東日本インカレ）を山形で開催した折には、開催時期の猛暑に備えて体育館内に「氷柱」を用意しましたが、米山さんは大汗を流しながら重い氷柱を何本もアリーナの中に設置してくれて「選手が少しでも気持ちよくプレイできるならね」と笑いながら話していました。「バドミントンをこよなく愛し、人を思い遣る」「竹を割ったような性格」、米山さんは新生東北学連が初めて主管として開催した東日本インカレの成功を心から喜んでくれた一人でした。

　米山さんは常々言っておられましたね。　選手の誰もが「勝つ喜び」「プレイする喜び」を味わってほしいと・・・・・

東北学生バドミントン連盟では米山さんのこのご遺志を心に受け止めながら学連運営や大会運営に努めてまいりますので、天国からあの優しい笑顔で東北の学生の活躍を暖かく見守っていてください。

米山さん　バドミントンの楽しいひと時を本当にありがとうございました。

どうぞ安らかにお眠りください。

平成29年5月26日

東北学生バドミントン連盟　会長　北見正伸